

令和7年度 第1回学校評価のご報告

木々の葉も色づき、一段と秋の深まりを感じる頃となりました。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。9月に実施した「学校評価保護者アンケート」「元町っ子アンケート(子ども)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下に、ご報告させていただきます。

学校教育目標

自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成

～進んでチャレンジし、対話を通して学びを深める元町っ子～

目指す子ども像

「も」もっと学びたいと思える子ども

「と」ともだちを大切にできる子ども

「ま」まいにち笑顔で過ごせる子ども

「ち」ちゃんと目を見て考えて話せる子ども

概要

今年度は、学校教育目標「自ら考え、夢や目標に向かって、積極的に行動する子の育成」を受けて、『「対話力」「問題解決力」を高める授業の構築』を研究主題としてあげて教育活動を進めています。昨年度から引き続き「対話力」「問題解決力」に重点を置きながら、今年度は特に、子どもたちが、「話したい」「問題を解決したい」というように意欲的に取り組めるような授業展開を工夫していこうとしています。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像(も・と・ま・ち)に照らし合わせて、評価項目を「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「学校独自の取組」と設定しました。今年度、昨年度と項目の内容を変更したり、新しく付け加えたりしたところもあり、比較できない項目も出てきています。

子ども対象の「元町っ子アンケート」は、今年も全学年オンラインで回答しました。多くの項目で80%以上が「できている」と答えています。自分の行動をふり返し、前向きに取り組むことができていると認識できる機会となったのではないのでしょうか。

保護者アンケートは、今回もすぐ一からオンラインで回答いただきました。昨年度に比べて、回収率は72%と、10%も下がりました。今回は、回収する時期を休日参観後の9月中旬としたために、少し期間も短くじっくりと回答していただく時間が不足していたかもしれません。回答していただいた保護者の皆様から、色々なご意見を頂くことができました。全体を通して、ほとんどの項目で実現度は80%以上でした。「教職員自己評価」についても、多くの項目で実現度は80%以上でした。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思えます。

今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。今後も皆様のご協力をいただきながら、一人一人の子どもを大切にしたいと思えます。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。第2回学校評価は、2月に予定しています。

○学校評価(子ども・保護者・教職員)の結果

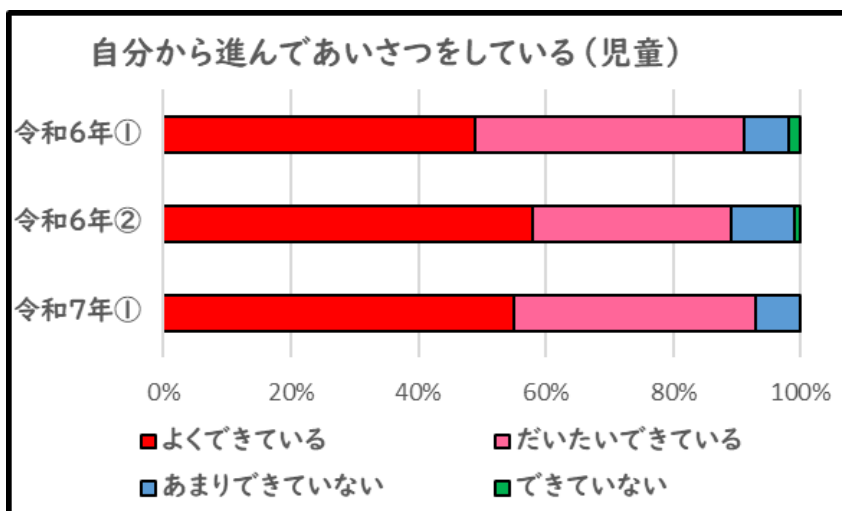
実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

		質問項目	子ども実現度		保護者実現度		教職員実現度	
			R6	R7	R6	R7	R6	R7
学校生活	1	学校で楽しく過ごす	92%	95%	89%	94%	99%	100%
	2	進んであいさつをする	89	93	85	86	93	93
	3	夢や目標に向かってチャレンジしようとしている	84	85	84	83	100	93
(確かな学力) もっと学びたいと思える子ども	1	授業中に学習のルールを守る	89	87			100	100
	2	授業や帯時間の学習に集中して取り組む	85	86	80	84	84	92
	3	家で宿題や自主学習などに進んで取り組む	89	85	69	75	100	82
	4	本をよく読む	60	73	53		77	75
(豊かな心) ともだちを大切にできる子ども	1	誰とでも仲良くする	93	91	95	97	92	100
	2	相手の思いや考えをよく聞こうとする	92	96	86	94	100	100
	3	相手の気持ちを考えて行動する	94	95	93	95	100	100
	4	たてわり活動を楽しんでいる。	90	92	90	92	100	85
(健やかな体) まいにち笑顔で過ごす子ども	1	自分のことを好きでいる。(児) 子どもの良さを認めている。(保・教)		69		89		100
	2	自分の体や心を大切にする	90	95	99	100	100	86
	3	生活リズムや歯磨きなど健康に気をつける	85	91	87	89	100	77
	4	進んで外遊びや運動をする	86	84	84	79	93	77
	5	安全に気を付けて過ごす	96	97	94	94	97	92
(学校独自の取組) ちゃんと目を見て考えて話せる子ども	1	興味をもって学習に取り組んでいる	87	79	75		100	100
	2	友だちと話すことで考えを深めている	89	86			100	93
	3	課題や問題に自分から進んで取り組む	80	79			88	93
	4	タブレットを活用する	93	100	92	89	100	86

主な成果と課題

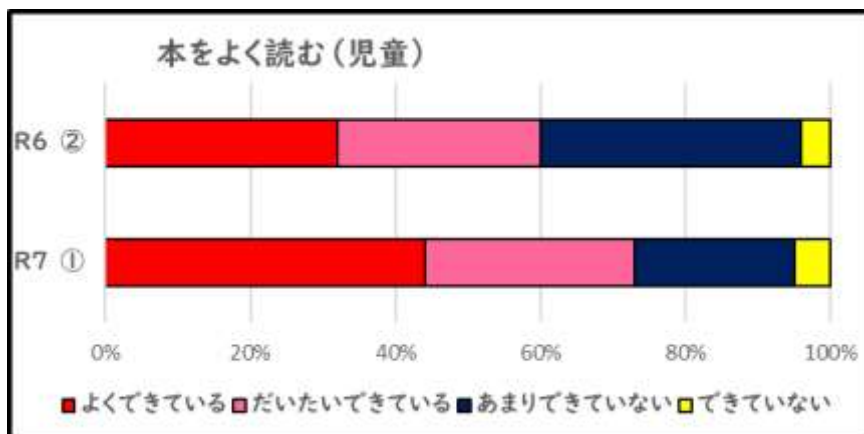
<学校生活>

登校の時に、子どもたちは毎日元気よく挨拶をしています。アンケートの結果からも、子どもたちの実現度は昨年度よりも上がっています。さらに、「できていない」と回答している子どもは0でした。子どもたち自身も、自ら進んで挨拶をしていると実感していることが分かります。挨拶は、朝の「おはようございます」だけではなく、「さようなら」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」等、その場その場に応じた言葉が色々とあります。その場に適した挨拶を行い、お互いに気持ちよく学校生活を送ってほしいと思います。



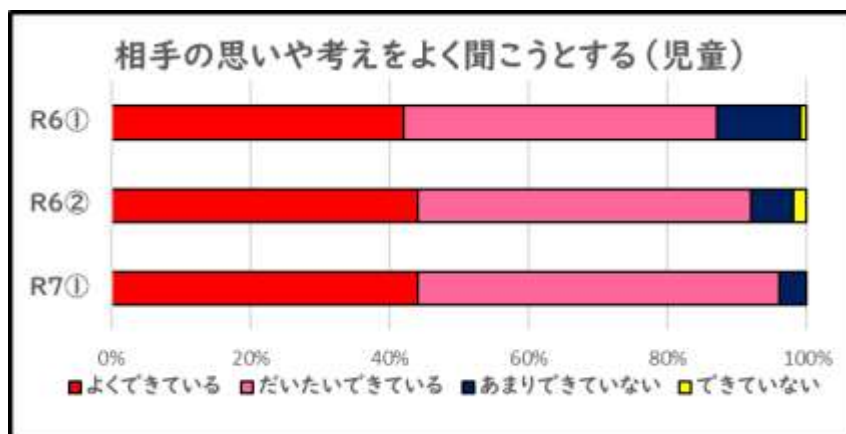
<もっと学びたいと思える子ども>

「本をよく読む」と回答した子どもは73%でした。他に比べれば、まだ低い値ですが、昨年度末は60%だったので、実現度は大きく上がっています。今年度は夏休みの職員作業として、学級文庫の本を整理し、新しい本をたくさん入れるようにしました。図書館司書が選んだ各学年に応じた本を子どもたちは、興味をもって手にとり読んでる姿が見られます。また、学級図書として図書館から借りた数十冊の本を定期的に交換したり、今の学習に関連する本を学級に置いたりすることで、様々な本に触れる機会が増えています。さらに、6月の選書会で選んだ本を2学期には貸し出すことができるようにしました。読みたい本が、すぐに読めるということで、本への興味も増したのではないかと思います。子どもたちが、本に親しめるように今後も取組を続けていきます。

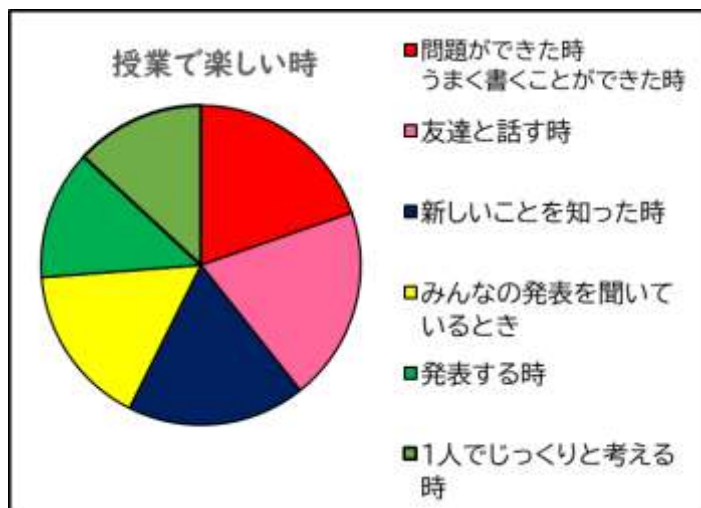


<ともだちを大切にできる子ども>

4項目とも昨年度末とだいたい同じような結果となりました。「相手の思いや考えをよく聞こうとする」の質問に96%の子どもが「よくできている」「できている」と回答しています。昨年度末よりも少し実現度が上がりました。保護者の回答も、昨年度末よりも8%上がっています。子どもたちは、「友だちの話を聞く」「相手の考えや思いを聞こうとする」ことを意識して頑張ろうとしていることが伺えます。授業の中でどんな時が楽しいかを尋ねると、「友だちと話し合う時」と答えている子どもが多かったです。対話活動を子どもたちは楽しんでいる様

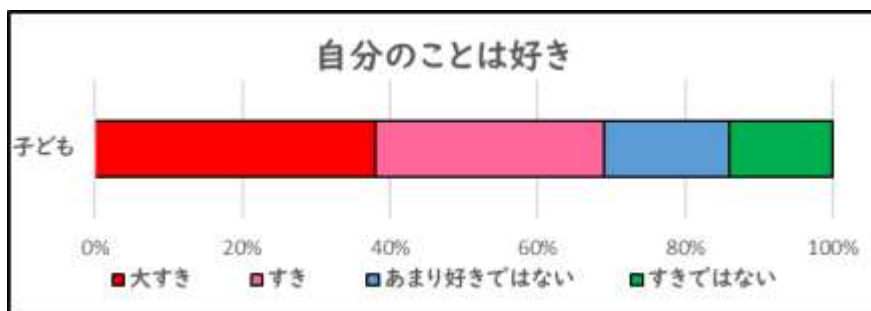


子が分かります。友だちの思いを聞いて、「自分と同じだ！」と自分の考えに自信がもてることもあるでしょう。また、友だちの考えと比べてさらにどのように考えられるか思いを深めることもあるでしょう。いろいろな意見を聞くことで学習も深まっていくと考えます。これからの学習活動でも対話活動を重視し、子どもたちの思いが広がったり深まったりするようにしていきます。



<まいにち笑顔で過ごせる子ども>

昨年度の保健の日の学習の中や、全国学力学習状況調査の結果を受け、自己肯定感が低いという課題が見られました。そこで、今年度、新しく「自分のことを好きですか」という質問を追加しました。結果は69%と低い値となりました。一方で、保護者や教職員には「子どもたちの良さを認めていますか」という質問を行いました。保護者は89%、教職員は100%と高い実現度となりました。大人たちは、子どもたちの良さを認めているのに、子どもたちにはあまり伝わっていないのではと考えます。できたとき、がんばった時には、その子どもにきちんと伝わるような声かけをするなど、子どもたちにもっと寄り添った関わりを大切にしていきたいと思っています。



<学校独自の取組(子ども)>

「興味をもって学習に取り組んでいる」の実現度が昨年度末よりも下がる結果となりました。興味をもって学習に取り組むことができにくい子どももいる現状が分かります。今年度、子どもが意欲をもって学習に取り組めるような授業展開を工夫する研究を行っています。それぞれの学習の中で、子どもたちの思いを大切にし、その思いを組んだ学習展開を考え実践していくことで、子どもの意欲を高めることにつながっていくと考えます。

また、基礎的な学力が定着していないと、学習も分からず意欲の低下につながることも考えられます。基礎学力においても、帯時間や日々の学習、家庭学習等の中で繰り返し定着できるようにしていきます。子どもたちは、タブレットの学習において100%の子どもが効果的だと回答しています。この子どもたちの実態を生かし、授業の中で、ロイロノートを活用した学習展開を考えたり、ミライシードを活用して、苦手な内容を繰り返し学習したりすることで、子どもたちは楽しみながら学習に向かうこともできると思います。校内でさらに子どもたちの興味を高める取組を検討していきたいと思っています。

自由記述について

■学校費用について

- ・特にないが、強いて言うなら使用期間が短かったり、使用頻度の低かったりする学用品などは、購入ではなく貸し出しでも良いのでは？と思うことがありました。
- ・授業で使うものを家庭で準備することが多く負担に感じています。

- ・少人数の学校という理由で、子供の体験が貧弱になるのは良くないと思うので、保護者の費用負担を多少は大きくしても良いのではないかと思います。
- 学用品については、使用期間、使用頻度を考慮して、本当に必要なものを購入していただくように、再度見直していきたいと思います。また、図工などの材料集めでは、ご協力いただきありがとうございます。取捨選択をしながら、必要なものについては、準備期間を長く設け、負担があまりかからないような方法を検討していきたいと思います。
- 学校費用につきましては、ある程度上限もありますので、でき得る中で様々な体験を行うことができればと考えています。

■その他

- ・宿題の直しをきっちり学校でしていただいて有難く思っています。漢字も日頃、小テストをしてくださっているの、宿題以外に勉強をする時間が増え、計画的に取り組めます。
- ・いつも丁寧な接し方をしていただきありがとうございます。子どものためになっていると感じています。
- ・理念に沿った教育をしていただいたら充分です。いつもありがとうございます。
- 学習や日頃の接し方など、子どもたちに寄り添いながら、丁寧に指導を続けていきたいと思っています。
- ・給食時間の参観があったらいいなと思います。
- コロナ前は、毎年1年生の保護者を対象に給食試食会を行っていたのですが、コロナで中断していました。今年度は、1年生、2年生、6年生を対象に久々に行いました。給食についてのお話を聞いてもらい、その後子どもたちの給食の様子を参観し、実際に給食を食べていただくという会でした。来年度もまだ体験していない学年に募集をかける予定です。

学校運営協議会より

今回の学校評価アンケートの結果については、学校運営協議会にて、理事の皆様からご意見を頂戴しました。

- 「おはよう」などの朝の挨拶はできているが、「さようなら」等、他の挨拶はあまり言えていないように感じる。一人ひとりが相手のことを考えて、それぞれに適した挨拶ができるようになってほしい。
- 本をよく読む子どもが増えているのはとてもいいことである。最近、活字離れが多くなっている。本を読むことで、想像力も高まり、ボキャブラリーも増えていく。学校生活の中でも、本を読むこと、辞書を使うことを進めていってほしい。あわせて、図書館の活用の仕方を学ぶことで、図書の分類などにも触れていってほしい。
- 中学校になると、文章を書く分量がとて多くなる。中学校に入って困らないように、小学校の間にきちんと書く力を身につけていってほしい。
- ミライシードやロイロノートなど今の子どもたちは、iPadを使って色々な学習を行っていることに驚いた。楽しみながら学習ができるのはいいことだが、プリントやノートに書くことも継続して行っていってほしい。

いただいたご意見をもとに、今後とも、学校と家庭と地域が同じ姿勢で子どもたちを育てていきたいと思っています。